

## 私の留学体験記

広島県立安古市高等学校 1年 大久保 帆夏 (おおくぼ ほのか)

留学期間 平成30年7月26日～平成30年8月11日 (17日間)

留学先 セントジョーンズグラマースクール (アデレード, オーストラリア)

私はオーストラリア留学で心に残るたくさんのことを経験しました。

1つ目は、積極性を学びました。オーストラリアの生徒はみんなしっかりと自分の意見を持っていました。ホストシスターが参加するミーティングについて行ったとき、みんなが意見を持ち発表していました。彼女らは自分の意見に反対されても反対意見に流されずに自分の考えを貫いていました。また、ホストシスターやホストブラザーは私よりも自立していました。朝食を自分で作っていたり、ホストシスターは学校に持っていくサンドイッチも自分1人で作っていたりしました。私は2人が家族の一員としての自覚を持ち、責任のある行動をとっているなと思いました。オーストラリアでは子どもも家事を積極的に手伝っていると知り、素晴らしいと思いました。

2つ目は、オーストラリアの人はみんなオープンマインドだったことです。私がホームステイしている間に、ホストファミリーがホストファザーのおじさんのために誕生日パーティーを主催しました。日本では身内や親しい友人程度しか祝わないのに、遠い親戚のために誕生日パーティーを開くなんて優しいと思い、感心しました。さらに、ホストファザー側の親戚だけでなく、ホストマザー側の親戚も招いていたことに驚き、日本よりも強い絆で結ばれていると思いました。オーストラリアの人はとてもいいおもてなしの心を持っていました。

3つ目はオーストラリアの人は感情表現がストレートでした。私のホストファミリーもお互いに愛情を表現しあっていました。例えば、寝る前や家を出るときはハグをしていました。ホストファミリーの親戚が集まったとき、よろしくと言ってハグをしてくれました。ハグをしてくれたときとても心が温まり、安心しました。

私はオーストラリアで大好きなホストファミリーとかけがえのない時間を共有することができました。この留学で経験したことは一生忘れるはずはありません。私はホストファミリーと「また絶対に会おう」と約束をしました。ホストファミリーに会い、この約束を果たすために、もう一度オーストラリアに行きたいです。私はこの留学を経験し、外国についてますます興味がわいてきました。だから他の国にも行きたいです。

私と一緒に思い出を作ってくれたホストファミリー、St John's Grammar School で仲良くなった友達、日本から一緒に行った友達、先生方、ありがとうございました。